

CEF 2025 パネルディスカッション 『資格化実現に向けて、障害者就労支援士を考える』

■ 日時 2025年3月8日(土) 15:15~16:30

■ テーマ 「研修体系の整備から資格化へ、次のステージが動き出す」

■ プログラムの概要

厚生労働省は「職場適応援助者の育成・確保に関する作業部会」において、ジョブコーチの資格化について検討を進めてきました。令和6年度の議論を通じて、その具体的な方向性が明確になりつつあります。この取り組みは「障害者雇用の質」に深く関わる重要な動きとして注目されています。

本シンポジウムでは、資格化の概要について厚生労働省から行政説明をいただくとともに、作業部会主査の小川浩氏、構成員の若尾勝己氏、さらに参加者の皆様を交え、今後のビジョンや課題について意見交換を行います。

■ プログラムの目的

「職場適応援助者の育成・確保に関する作業部会」において示された「障害者就労支援士」の概要について、基本情報を共有します。

そのうえで、この資格が「障害者雇用の質」の向上にどのように貢献できるのかを議論し、今後のビジョンや課題、そして業界が果たすべき役割について意見交換を行います。

■ 登壇者 【企画】小川 浩 氏 (大妻女子大学、NPO 法人ジョブコーチ・ネットワーク)

【登壇者】安蒜 孝至 氏 (厚生労働省障害者雇用対策課地域就労支援室長)

若尾 勝己 氏 (NPO 法人全国ジョブコーチ連絡協議会会長)

■ 内容と当日のながれ

内 容	担当・発表者
趣旨と流れ	小川浩 氏
行政説明：(20分程度) 障害者就労支援士について	安蒜孝至 氏
作業部会構成員から：(各10~15分程度)	若尾勝己 氏 小川 浩 氏
フロアーを交えた意見交換	
まとめ	小川浩